

2020年6月18日

株式会社コロワイド

当社株主提案に関するご質問へのご回答

この度は、株式会社大戸屋ホールディングスに対する当社の株主提案をご検討頂き誠に有り難うございます。多くの株主様から株主提案へのご支持を頂戴しておりますことに心より感謝申し上げます。

一方、現経営陣による不正確な言動及び情報発信によってお困りの株主様より、当社としての見解をお求め頂いておりますので、この場を借りましてご説明をさせて頂ければと存じます。

Q1. セントラルキッチンについて

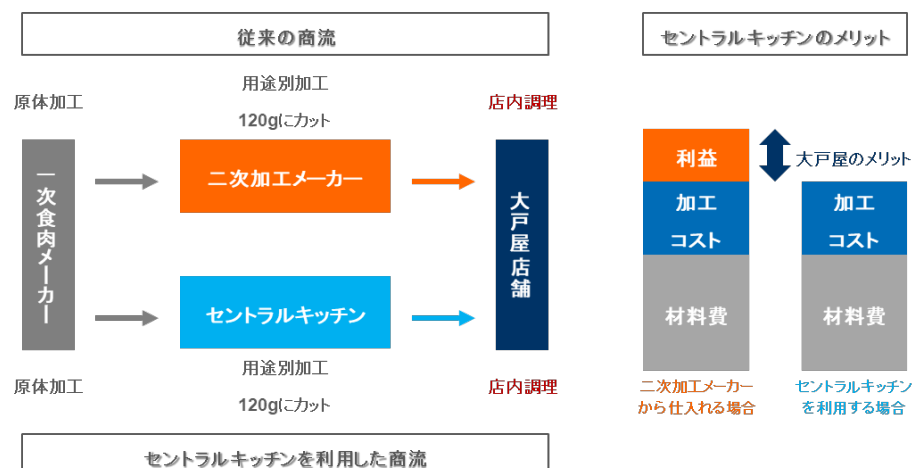
現経営陣による言動及び情報発信

- ・「セントラルキッチンで一括集中生産、出来る限り効率的に食品を工場生産(招集通知同封資料より)」
- ・「セントラルキッチンというのは、工場ですべて作ってしまい、店舗では盛り付けるだけだ(東洋経済ONLINE 5月26日配信より)」

当社からのご回答

- 大戸屋さんにおけるセントラルキッチンの役割は、元々外部から仕入れている加工品を自社製造化することで、品質・商品性を向上させつつ、大戸屋さんにとっての仕入価格を下げることで(下図ご参照)。
- すなわち、一部の加工食材の仕入元を、外部メーカーから自社のセントラルキッチンに切り替えるだけと言えます。
- したがって、「工場ですべて作って店舗で盛り付けるだけ」というのは誤った説明です。
- なお、当社は、2019年12月17日に現経営陣からの質問状への回答として、より詳細な説明を行っています。

活用例：とんかつ用120g豚ロースの場合



Q2. 大戸屋 HD にとってのメリットについて

現経営陣による言動及び情報発信

- ・ 「コロワイドが提案するコロワイドグループのセントラルキッチンや物流網等の資源の活用等の施策は、コロワイド側だけに多くのメリットが発生する一方で、当社の企業価値の源泉を損なうもの(招集通知同封資料より)」

当社からのご回答

- 当社は、大戸屋 HD の業績悪化に歯止めが掛からないことから、2019 年 11 月から 2020 年 3 月に至るまで、友好的 M&A による業績の抜本的改善を提案してまいりました。
- 当社は、連結グループによる経営を行っていますので、どのグループ会社で利益が上がっても同じ成果となります。
- 現経営陣には、大戸屋 HD の再建のために、シナジーから生まれる利益を全て大戸屋 HD に投下するというメリットを再三説明してまいりました。
- したがって、「コロワイド側だけに多くのメリットが発生する一方で、当社の企業価値の源泉を損なう」というのは誤った説明です。

Q3. 従業員からの意見表明について

現経営陣による言動及び情報発信

- ・ 「回答者の 9 割を超える(回答者 288 名のうち 268 名(93.1%))当社グループ従業員から、コロワイドの株主提案ではなく、当社の会社提案に賛成するとの回答を得ました。(大戸屋 HD 6 月 5 日プレスリリースより)」

当社からのご回答

- 現経営陣及びそのアドバイザーから、アンケートへの回答を求める指示があったとのことで、従業員の皆様がこのようなアンケートに回答せざるを得なかったことを心苦しく感じております。
- 今回の株主提案は、適切なガバナンスの構築を目的として、株主として、現経営陣に提示しているもので、従業員の皆様を巻き込む必要はないと考えております。
- また、大戸屋 HD の有価証券報告書によれば、国内正社員数は 470 名ですので、43%以上の方が圧力に屈することなく、賛成されなかったことを心強くも感じております。

Q4. フランチャイズ加盟店からの意見表明について

現経営陣による言動及び情報発信

- ・ 「当社のフランチャイズ加盟店(コロワイドグループのフランチャイズ加盟店を兼ねている加盟店も含まれます。)のうち現段階におきまして 80%以上の加盟店より、(中略)本株主提案に反対であるとの意見の表明を受けました(大戸屋 HD 6 月 5 日プレスリリースより)」

当社からのご回答

- 多数のフランチャイズ加盟店のオーナー様より、当社に直接ご連絡を頂き、以下のようなお声を頂戴しています。
- 「店を続けていきたいけれども、今の本部の経営方針では店舗の存続が危ぶまれるので、大戸屋の良さは残したまま、コロワイドさんによる経営改革をお願いしたい。今の経営陣では無理です。」
- 大戸屋 HD では、直近 2 期において、売上高が減少しているにも関わらず、販管費が増加しており、人件費の増加を他のコスト削減で吸収できなくなっている状況にあります。フランチャイズ店舗においても、売上減少と高い経費率によって多くの加盟店がご苦労されています。

いずれに致しましても、当社としては、お客様のご期待に応えられる「大戸屋」であり続けるための経営改革を行ってまいりたいと考えておりますので、大戸屋 HD 株主の皆様におかれましては、正確な情報に基づくご判断を賜れば幸甚です。

以上